

東海地域の地震活動指数

(参考)

(クラスタを除いた地震回数による) 2016 年 10 月 11 日現在

| | ① 静岡県中西部 | | ② 愛知県 | | ③ 浜名湖周辺 | | | ④ 駿河湾 |
|----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|-------------|-------------|-------------|---------------|
| | 地殻内 | フィリピン海プレート | 地殻内 | フィリピン海プレート | フィリピン海プレート内 | | 全域 | |
| | | | | | 全域 | 西側 | | 東側 |
| 短期活動指数 | 6 | 4 | 3 | 4 | 6 | 7 | 4 | 3 |
| 短期地震回数 (平均) | 8 (5.29) | 5 (7.00) | 10 (13.16) | 14 (14.15) | 6 (3.72) | 4 (1.43) | 2 (2.28) | 4 (6.06) |
| 中期活動指数 | 5 | 1 | 1 | 4 | 5 | 7 | 4 | 4 |
| 中期地震回数 (平均) | 19 (15.87) | 13 (21.00) | 26 (39.48) | 45 (42.44) | 9 (7.44) | 6 (2.87) | 3 (4.57) | 13 (12.12) |

静岡県中西部、愛知県、浜名湖周辺： $\Delta r=3\text{km}$ 、 $\Delta t=7\text{日}$

駿河湾： $\Delta r=10\text{km}$ 、 $\Delta t=10\text{日}$

*対象期間： 静岡県中西部、愛知県：短期30日間、中期90日間

浜名湖周辺、駿河湾：短期90日間、中期180日間

*基準期間： おおむね長期的スロースリップ（ゆっくり滑り）発生前の地震活動を基準とする。

静岡県中西部、愛知県：1997年－2001年（5年間）、駿河湾：1991年－2000年（10年間）、

浜名湖周辺：1997年－2000年 および 2006年－2012年（11年間）

[各領域の説明]

① 静岡県中西部：プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域（固着域）。

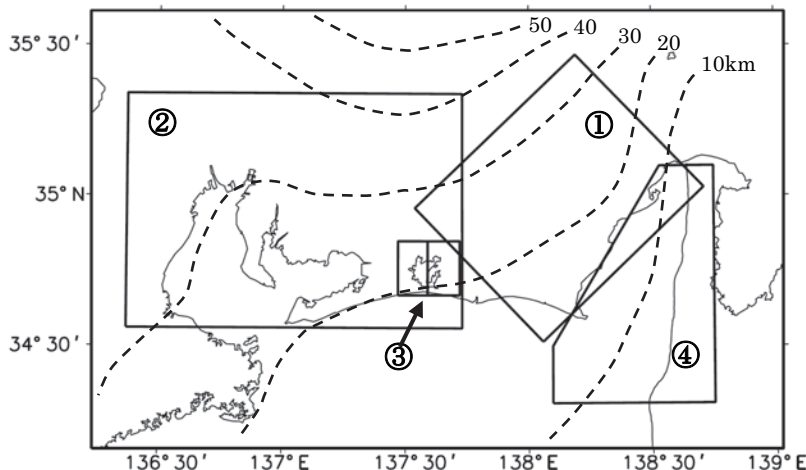
② 愛知県：フィリピン海プレートが沈み込んでいく先の領域。

③ 浜名湖周辺：固着域の縁。長期的スロースリップ（ゆっくり滑り）が発生する場所であり、同期して地震活動が変化すると考えられている領域。

④ 駿河湾：フィリピン海プレートが沈み込み始める領域。

2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震 (M6.5) と 2011 年 8 月 1 日の駿河湾の地震 (M6.2)

の余震域の活動を除いた場合での活動指数についても求めた（次ページ）。



| 指数 | 確率 (%) | 地震数 |
|----|--------|-------|
| 8 | 1 | 多い |
| 7 | 4 | やや多い |
| 6 | 10 | |
| 5 | 15 | |
| 4 | 40 | ほぼ平常 |
| 3 | 15 | |
| 2 | 10 | やや少ない |
| 1 | 4 | |
| 0 | 1 | 少ない |

*Hirose et al. (2008) によるプレート境界の等深線を破線で示す

図2 東海地域の地震活動指数

気象庁作成

地震活動指数の推移（中期活動指数）

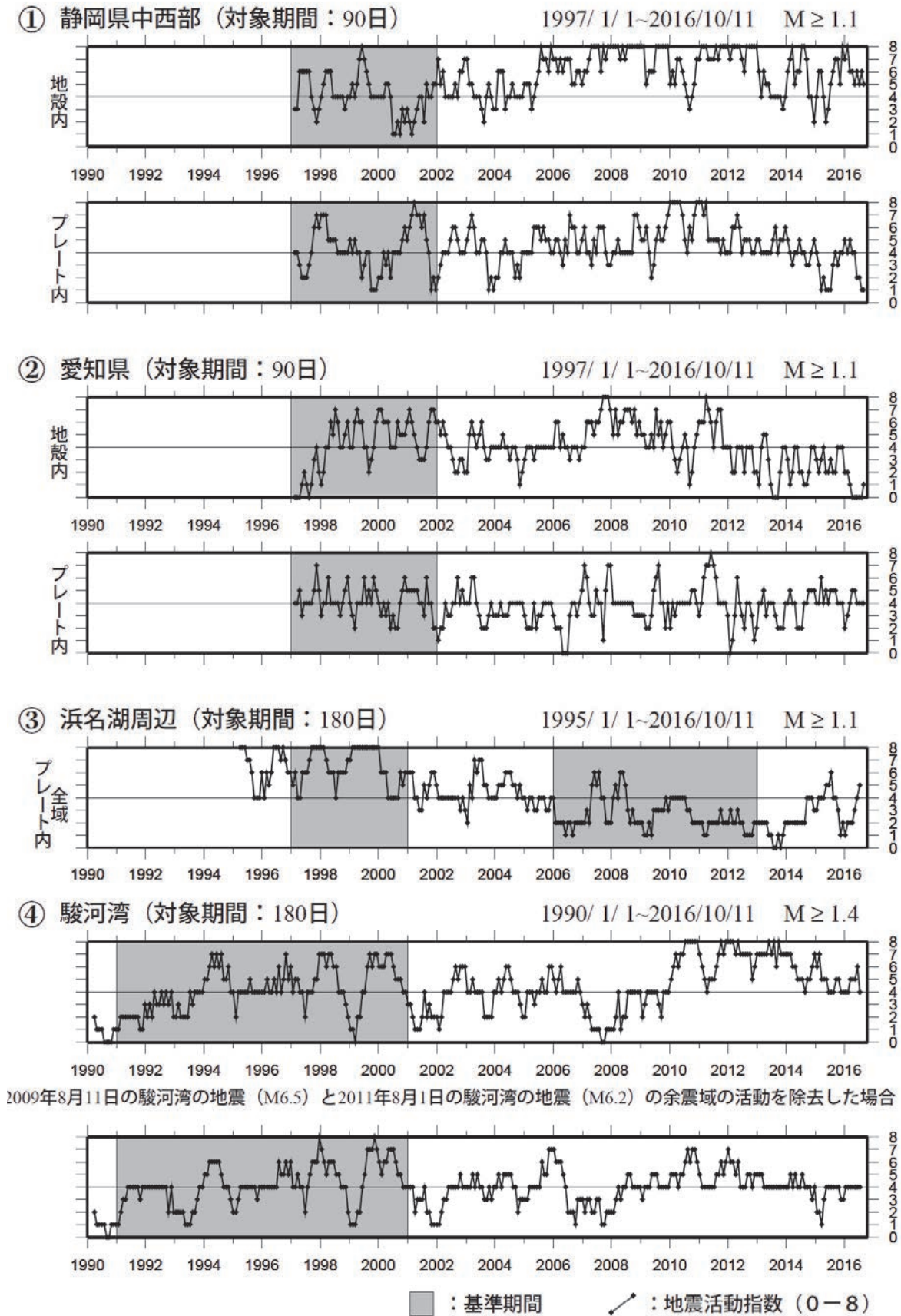


図3 東海地域の地震活動指数の推移

愛知県地殻内では、地震の発生頻度の低い状態が続いている。その他の地域では概ね平常レベルである。

気象庁作成